平成 30 年 5 月 14 日

学校医各位

鎌倉市医師会会長　井口　和幸
学校保健担当理事　花岡　正人

「学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等の
ニーズに関する実態調査」の実施について

神奈川県医師会より通知がまいりましたのでお知らせいたします。
こちらは鎌倉市医師会 HP にもアップロードしてありますので、ご確認ください。

---

神奈川県医師会
会長　菊岡　正和
（公印省略）

**「学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等の
ニーズに関する実態調査」の実施について**

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の各種事業にご理解・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

標記の件につきまして、日本医師会長より協力依頼がございましたので、別添のとおりお知らせいたします。

つきましては、貴会会員および学校医の先生方にご周知いただきますようお願いいたします。

なお、本実態調査の調査対象地域は海老名市医師会となっておりますが、ご参考までに調査対象地域以外の郡市医師会にも送付させていただきます。

お問い合わせ先
保険医療学術課　担当:深澤
横浜市中区富士見町3－1
TEL045(241)7000　FAX 045(241)1464
E-mail　y-fukazawa@kanagawa.med.or.jp

日医発第１３９号
（総研９）
平成３０年４月２７日

都道府県医師会長　殿

日本医師会
会長　横倉義武

「学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等のニーズに関する実態調査」の実施について（協力依頼）

謹啓、日本医師会の会務運営につきましては、日頃よりご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日医総研では、小児医療の重要課題のひとつである小・中学校の子どもに対する健康教育のあり方について検討する際の基礎資料に資することを目的として、下記のとおり学校医活動および健康教育等に関するアンケート調査を実施することといたしました。別紙の調査概要等をご参照いただき、調査へのご協力をお願いする次第です。

貴会におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、貴会管下の郡市区医師会への周知協力、調査対象の先生より問い合わせがあった場合には、自主的な協力を促し、趣旨をご説明くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査票等は、調査対象である医師の先生の所属医療機関に、日医総研より５月上旬に直接発送いたします。収集された回答は統計的に処理し、医療機関または個人の特定につながる形で公表することはございません。最後に、本状は対象地点を含む22都府県医師会にのみお送りしていることを申し添えます。

謹白

記

１．調査目的：学校における子どもの健康教育のあり方等について検討する際の基礎資料に資するため

２．調査対象：医師会または自治体がインターネットにて公表している学校医のリストから抽出された、全国の1,328人の医師

３．調査内容：学校医活動の現状と健康教育に関する意識など

４．調査期間：2018年５月

発送は５月10日（木）前後，締め切りは５月25日（金）消印有効

５．結果の公表：日医総研ワーキングペーパーとして今年度中に公表予定

６．調査担当：日本医師会総合政策研究機構　野村・出口　Tel: 03-3942-6524

以上

神医受
第406号
30.5.-1
神奈川県医師会

# 「学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等のニーズに関する実態調査」調査概要

2018年4月27日

日医総研

**【調査目的】**

小・中学校の学校医を対象に学校医活動の現状を把握するとともに、学齢期特有の子どもの保健・医療ニーズや健康課題を把握し、小児医療の将来に向けた重要課題のひとつである健康教育のあり方を検討する際の基礎資料に資するため。

**【調査方法と内容】**

郵送法による自記式アンケート調査により、以下の項目について収集する。

① 2017年度の学校医の基本情報

（卒年、医療機関の所在地、学校医としての診療領域，受託経緯，担当学校数，通算経験年数等）

② 主な職務の現状および重要と思う健康教育の内容等（小学校，中学校）

**【調査対象】**

医師会または自治体がインターネットにて公表している学校医のリストから抽出された全国の1,328人の医師。

対象地域は全国22都府県30地点。詳細は裏面をご参照のこと。

**【調査期間】**

2018年5月

**【調査主体】**

日本医師会総合政策研究機構（日医総研）　担当：野村・出口

**【調査結果の取り扱い】**

今年度中に日医総研ワーキングペーパーとして公表予定。

調査対象地域ならびに学校医診療領域別の対象医師数

| 都道府県 | 自治体・医師会名 | | 内科医 | 眼科医 | 耳鼻科医 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青森県 | 弘前市 | 自治体 | 44 | 21 | 9 | | 74 |
| 秋田県 | 能代市 | 自治体 | 16 | 4 | 3 | | 23 |
| 山形県 | 天童市東村山郡 | 医師会 | 23 | 6 | 4 | | 33 |
| 栃木県 | 小山地区 | 医師会 | 100 | 10 | 12 | | 122 |
| 群馬県 | 安中市 | 医師会 | （内訳記載なし） | | | | 21 |
| 埼玉県 | さいたま市与野 | 医師会 | 24 | 3 | 5 | | 32 |
| | 松伏町 | 自治体 | （内訳記載なし） | | | | 15 |
| | 上尾市 | 自治体 | 48 | 10 | 5 | | 63 |
| 千葉県 | 佐倉地区 | 医師会 | 35 | 7 | 3 | | 45 |
| 東京都 | 新宿区 | 自治体 | 37 | 25 | 12 | | 74 |
| | 調布市 | 医師会 | 29 | 9 | 11 | 2 | 51 |
| 神奈川県 | 海老名市 | 自治体 | 14 | 3 | 3 | | 20 |
| 新潟県 | 三条市 | 医師会 | 24 | 4 | 4 | | 32 |
| 静岡県 | 磐田市 | 医師会 | 31 | 6 | 4 | | 41 |
| | 御殿場市 | 自治体 | 9 | 3 | 2 | | 14 |
| 大阪府 | 大阪市港区 | 医師会 | 16 | 4 | 4 | | 24 |
| | 大阪市東淀川区 | 医師会 | 21 | 12 | 8 | | 41 |
| 兵庫県 | 神戸市中央区 | 医師会 | 17 | 9 | 9 | | 35 |
| 奈良県 | 五條市 | 医師会 | （内訳記載なし | | | | 15 |
| | 大和郡山市 | 医師会 | 16 | 5 | 2 | | 23 |
| 島根県 | 大田市 | 医師会 | 15 | | | | 15 |
| | 江津市 | 医師会 | （内訳記載なし | | | | 12 |
| 広島県 | 佐伯地区 | 医師会 | （内訳記載なし | | | | 25 |
| 愛媛県 | 東温市 | 医師会 | 8 | 3 | 2 | | 13 |
| 高知県 | 吾川郡 | 医師会 | （内訳記載なし | | | | 13 |
| 福岡県 | 福岡市 | 医師会 | 202 | 75 | 64 | | 341 |
| 熊本県 | 鹿本 | 医師会 | 19 | 3 | 0 | | 22 |
| 鹿児島県 | いちき串木野市 | 医師会 | 22 | 1 | 2 | | 25 |
| 沖縄県 | 那覇市 | 自治体 | （内訳記載なし | | | | 49 |
| | 宮古島市 | 医師会 | 15 | | | | 15 |
| 22都府県 | 30地点 | | | | | | 1,328 |

日医発第〇号
（総研〇）
平成３０年５月〇日

学 校 医　各 位

日 本 医 師 会
会長　横 倉 義 武

## 「学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等のニーズに関する実態調査」への回答のお願い

拝啓 平素は学校医活動にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今般、小児医療の重要課題のひとつである小・中学校の子どもに対する健康教育のあり方について検討する際の基礎資料に資することを目的として、下記のとおりアンケート調査を実施することとなりました。学校医の活動を通じて実態を把握しておられる先生方の貴重なご意見をお伺いしたいと存じます。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、いただきました回答は統計的に処理し、個人が特定される形での公表は一切しないことを申し添えます。

敬具

記

１．対象：医師会または自治体がインターネットにて公表している学校医のリストから抽出された全国の1,328人の医師
２．調査期間：平成30年5月
３．調査方法：郵送法による自記式アンケート調査
４．締め切り： 締め切りは5月25日（金）消印有効
５．お問い合わせ先
日本医師会総合政策研究機構　野村・出口までお願いいたします。
E-mail:gakkoui@jmari.med.or.jp　Tel: 03-3942-6524

以上

※本調査は、小学校・中学校の学校医の方を対象に行っております。対象でない場合は、お答えいただく必要はございません。

# 学校医を対象とした子ども（児童・生徒）の健康教育等のニーズに関する実態調査

学校医等の基本情報

## 1 学校医の基本情報（2017年度の状況）

### 1.1 学校医活動としての診療領域（1つだけ○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 内科系 | ④ | 整形外科系 |
| ② | 眼科系 | ⑤ | 精神科系 |
| ③ | 耳鼻咽喉科系 | ⑥ | その他（　　） |

### 1.2 担当されている学校（幼稚園・保育園を含む）の数をご記入ください。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 幼稚園・保育園 | 合計（　　）園 |
| ② | 小学校 | 合計（　　）校 |
| ③ | 中学校 | 合計（　　）校 |
| ④ | 特別支援学校 | 合計（　　）校 |
| ⑤ | 高等学校 | 合計（　　）校 |

※担当していない場合は「0」をご記入ください。

SQ1.2 小・中学校の受託経緯 - 学校数の内訳

| | | |
|---|---|---|
| ① | 地区医師会からの推薦 | 合計（　　）校 |
| ② | 学校または教育委員会からの直接依頼 | 合計（　　）校 |
| ③ | 前任の医師からの引継ぎ | 合計（　　）校 |
| ④ | その他（　　） | 合計（　　）校 |

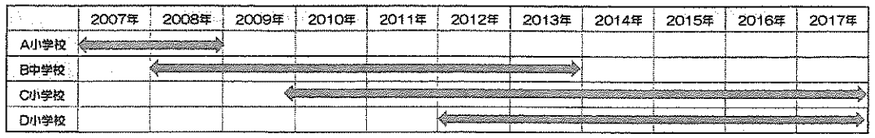
※該当しない場合は「0」をご記入ください。

### 1.3 学校医の通算経験年数

年

通算経験年数の計算および記入例

- 初めて学校医の受託を受けた年度から2017年度までを通算してご記入ください。
  - 例： D校のみ ⇒ D校の初年度2012から2017まで（6年）
  - A～Dの4校 ⇒ A校の初年度2007から2017まで（11年）
- ただし、初めて学校医を受託した年度から2017年度までに活動のブランクがある場合は、それらの期間を除いた年数をご記入ください。
  - 例： A、C、Dの3校 ⇒ A校の初年度2007から2017までの11年から ブランク（2009年度）の1年を除く（10年）




## 2 医師の基本情報（2018年3月の状況）

### 2.1 大学医学部卒業年（4桁）

西暦 （　　）年卒

### 2.2 性別（どちらかに○）

① 男性　② 女性

### 2.3 所属している医療機関（1つだけ○）

① 診療所　② 病院　③ その他（　　）

### 2.4 医療機関の所在地

（　　）都道府県　（　　）市区町村

### 2.5 職務（1つだけ○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 管理者 | ② 常勤の勤務医 | ③ 非常勤の勤務医 |
| ④ | その他（　　） | | |

### 2.6 日常診療における、先生の主たる診療科をお選びください（1つだけ○）。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 内科 | ⑤ | 整形外科 |
| ② | 小児科 | ⑥ | 精神科 |
| ③ | 眼科 | ⑦ | その他（　　） |
| ④ | 耳鼻咽喉科 | | |

2ページにお進みください。

## 3.学校医活動の現状と意識

学校医活動の現状と意識

3-1.2017年度における小・中学校の学校医活動の現状についてお伺いします。

| | | |
|---|---|---|
| Q1<br>定期健康診断 | 2017年度に、先生が定期健康診断された児童または生徒の総数をお教えください。<br>①小学校の対象児童数　約（　　）人　　②中学校の対象生徒数　約（　　）人 | |
| Q2<br>健康相談 | 2017年度に、医師が直接関わった児童・生徒の健康相談の事例はありましたか。（どちらかに✔）<br>□①あ　り　　□② な　し<br>事例数　（　　）件　⇒右SQ2へ | SQ2【ありに回答した方のみ】事例数をご記入ください。また、可能でしたら、事例をご紹介ください。<br>事例1（（年齢または学年）　　/男・女/内容　　）<br>事例2（（年齢または学年）　　/男・女/内容　　）<br>事例3（（年齢または学年）　　/男・女/内容　　） |
| Q3<br>学校保健計画 | 2017年度に、学校保健計画の立案に参画されましたか。（最も近い状況に✔）<br>□①担当校すべてで参画　□②（担当校の）一部で参画あり ⇒右SQ3-1、SQ3-2へ　□③な　し ⇒右SQ3-2へ | SQ3-1.【一部で参画に回答した方】⇒ 参画した学校数（　　）校<br>SQ3-2.【一部で参画、なしに回答した方】⇒ 参画されなかった理由をお選びください（複数✔可）。<br>□①学校から求めがなかったため　□②多忙のため　□③その他（　　） |
| Q4<br>学校安全計画 | 2017年度に、学校安全計画の立案に参画されましたか。（最も近い状況に✔）<br>□①担当校すべてで参画　□②（担当校の）一部で参画 ⇒右SQ4-1、SQ4-2へ　□③な　し ⇒右SQ4-2へ | SQ4-1.【一部で参画に回答した方】⇒ 参画した学校数（　　）校<br>SQ4-2.【一部で参画、なしに回答した方】⇒ 参画されなかった理由をお選びください（複数✔可）。<br>□①学校から求めがなかったため　□②多忙のため　□③その他（　　） |
| Q5<br>学校保健委員会 | 2017年度に、学校保健委員会に出席されましたか。（最も近い状況に✔）<br>□①担当校すべてで出席　□②（担当校の）一部で出席 ⇒右SQ5-1、SQ5-2へ　□③な　し ⇒右SQ5-2へ | SQ5-1.【一部で出席に回答した方】⇒　出席した学校数（　　）校<br>SQ5-2.【一部で出席、なしに回答した方】⇒出席されなかった理由をお選びください（複数✔可）。<br>□①学校から求めがなかったため　□②多忙のため　□③開催日に都合がつかなかったため<br>□④その他（　　） |
| Q6<br>健康教育 | 2017年度に、健康教育に携わられたことはありましたか。（どちらかに✔）<br>□①あ　り　　□② な　し<br>実施回数（　　）件　⇒右SQ6へ | SQ6【ありに回答した方のみ】可能であれば、主な開催テーマを簡潔にご記入ください。<br>（任意で最大3つまで）<br>テーマ1（　　）<br>テーマ2（　　）<br>テーマ3（　　） |

3-2. 学校医が関わる健康教育

学校で児童・生徒に行う健康教育について、先生ご自身は、どのような内容が重要とお考えですか。下の欄内の項目からお選びいただき、該当するものすべてに✔をつけてください（複数可、制限なし）。

□①食育　□②睡眠と健康に関する教育（眠育）　□③スマホやゲームの依存　□④たばこ　□⑤アルコール　□⑥薬物依存

□⑦疾病教育（がん）　□⑧疾病教育（糖尿病）　□⑨疾病教育（心疾患）　□⑩疾病教育（脳血管疾患）　□⑪疾患や障がいを持った仲間との暮らし方

□⑫心の健康　□⑬性教育　□⑭その他（具体的な内容：　　）　□⑮特に関心はない

□⑯保護者に対しても必要（具体的な内容：　　）　□⑰教職員に対しても必要（具体的な内容：　　）

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。